

■ 指定管理者制度導入施設 年度評価シート ■

評価年度

令和6年度

1 基本情報

公の施設名	相模原市立緑の休暇村センター 相模原市立青根緑の休暇村いやしの湯 相模原市立津久井合唱館
指定管理者名	一般社団法人 青根振興協議会
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで
施設設置条例	相模原市立緑の休暇村センター条例、相模原市立青根緑の休暇村いやしの湯条例、相模原市立津久井合唱館条例
施設の設置目的	青根地域の豊かな自然環境の中で、市民の健全な休養と研修の場を提供し、もって市民福祉の向上と地域社会の発展に寄与する。（相模原市立緑の休暇村センター条例第2条） 温泉資源の活用による市民の福祉の向上及び健康の増進を図り、市民のふれあいと交流を促進し、もって地域の活性化に寄与するため。（相模原市立青根緑の休暇村いやしの湯条例第2条） 市民が行う合唱、楽器演奏等の音楽活動及び交流活動の場を提供することにより、合唱の里づくりの推進及び音楽文化の振興並びに市民の総合交流の促進に寄与するため。（相模原市立合唱館条例第2条）
施設概要	青根地域の豊かな自然環境の中で、市民の健全な休養と研修の場を提供し、もって市民福祉の向上と地域社会の発展に寄与する。（相模原市立緑の休暇村センター条例第2条） 温泉資源の活用による市民の福祉の向上及び健康の増進を図り、市民のふれあいと交流を促進し、もって地域の活性化に寄与するため。（相模原市立青根緑の休暇村いやしの湯条例第2条） 市民が行う合唱、楽器演奏等の音楽活動及び交流活動の場を提供することにより、合唱の里づくりの推進及び音楽文化の振興並びに市民の総合交流の促進に寄与するため。（相模原市立合唱館条例第2条）
施設所管課	緑区役所区政策課（緑の休暇村センター及び青根緑の休暇村いやしの湯） 津久井まちづくりセンター（津久井合唱館）

2 管理実績

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
【休暇村センター】 利用者数合計（人）	2,240	2,701	1,680				
【休暇村センター】 利用料金合計（円）	4,967,940	6,180,000	4,862,800				
【いやしの湯】 利用者数合計（人）	86,042	90,461	83,016				
【いやしの湯】 利用料金合計（円）	58,464,490	61,488,210	62,205,100				
【合唱館】 利用者数合計（人）	267	452	627				
【合唱館】 利用料金合計（円）	60,900	69,650	81,450				

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
D	・成果指標の達成度は79.7%であり、評価基準により「D」と評価した。 ・コロナ禍以降の団体利用の減少などの活動傾向の変化や、施設の老朽化や物価高騰といった各種課題に取り組む困難な状況の中、地域貢献に積極的な姿勢で事業を行っていることは評価できる。

指標	3施設の平均値
指標名（単位）	各施設における達成度（％）の平均値
指標式と指標の説明	評価年度における「成果指標の達成度」の3施設の平均値

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
3施設平均値（％）	51.6%	59.3%	79.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

指標1	緑の休暇村センター
指標名（単位）	施設利用者数の増加（対象施設：客室、コテージ、食堂、テニスコート）
指標式と指標の説明	施設の年間利用件数/12カ月 単位：人 【目標値】令和4・5年度の利用件数(1か月)の平均値の5%増(10人単位で切り上げ) ※令和7年度はいやしの湯の中規模改修工事の影響を鑑み、目標値を半数とした。

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（人）	420	420	220	110	220	220	220
実績値（人）	187	225	140				
達成度（％）	44.4%	53.6%	63.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

指標2	青根緑の休暇村いやしの湯
指標名（単位）	施設利用者数の増加（対象施設：入浴施設）
指標式と指標の説明	施設の年間利用件数/12カ月 単位：人 【目標値】令和4・5年度の利用件数(1か月)の平均値の5%増(10人単位で切り上げ) ※令和7年度は、中規模改修工事のため営業実施なしのため目標値0とした。

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（人）	8,800	8,800	7,730	0	7,730	7,730	7,730
実績値（人）	7,170	7,538	6,918				
達成度（％）	81.5%	85.7%	89.5%		0.0%	0.0%	0.0%

指標3	津久井合唱館
指標名（単位）	施設の年間利用件数 単位：件（コマ）
指標式と指標の説明	午前、午後、夜間の区分を1コマ＝1件とする。 【目標値】令和4・5年度の利用コマ数（年間）の平均値の50%増（10人単位で四捨五入） ※前指定管理期間（令和元年度～令和5年度）の目標数値は、平成28年度と平成29年度の2年間の利用コマ数の平均値5%増

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（件）	200	200	100	100	100	100	100
実績値（件）	58	77	86				
達成度（％）	29.0%	38.5%	86.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	・事業の実施状況の達成度は120%であり、評価基準により「A」評価とした。 ・事業のうち、送迎バスの運行や会食・仕出しサービスの提供においては、地域の催事開催や交流を支援するものとして特に評価できる。また、記念日事業は、70周年に限らず毎年実施しており、市のPRに寄与するものとして評価する。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
該当なし			

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
該当なし			

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
-------	------	---------------	----

緑の休暇村センター

各組合・団体との協定事業 (利用助成券)	4～3月	<<協定団体>> ・相模原市職員労働組合 ・神奈川県市町村共済組合 ・相模原市勤労者福祉サービスセンター	○
夏季合宿誘致事業	7～8月	・青少年団体合宿の誘致 3団体 参加者84人(延べ114人)	○
会食サービスの提供	4～3月	・宿泊者以外への会食サービスの提供 延べ557人	◎

青根緑の休暇村いやしの湯

各組合・団体との協定事業 (利用助成券)	4～3月	<<協定団体>> ・神奈川県市町村共済組合 ・相模原市中小企業勤労者サービスセンター ・青根地域振興協議会 ・神奈川県厚生福利振興会 ・相模原市勤労者福祉サービスセンター	○
協賛・協力事業	7～9月	・入浴券及び会場提供、協賛金 9月 道志川合唱祭 11月 相模湖社会福祉協議会 藤野地区社会福祉協議会 休暇村花火大会(マルシェ誘致) 3月 休暇村祭り(マルシェ誘致)	○
記念日事業	11月20日 から3日間	・市制施行記念日(3日間) 1回4ポイント付与	◎
ポイントサービス	4～3月	平日：2ポイント 休日：1ポイント (毎週木曜日と毎月26日は1ポイント加算)	○
季節のイベント	①12月20日 ②12月22～28日 ③ 1月 2～ 6日 ④ 3月 1～15日	①ゆず湯の提供(冬至) 男女両方の露天風呂をゆず湯として提供を行った。 ②クリスマス飾り 館内をクリスマス仕様に飾りを行った。 ③甘酒の提供 入館者に対して無料で甘酒の提供を行った。 ④ひな人形飾り 館内を飾るとともに入館者に対して無料で甘酒の提供を行った。	○
送迎バスの運行	10～3月	・青根及び青野原地区対象に送迎バスを運行(月2回) バス停及び時刻表を全戸配布し高齢者等の利用 促進や健康増進を目的に実施 ※青野原地区利用者実績なし	◎
仕出しサービスの提供	4～3月	・周辺住民への仕出しサービスの提供 <<主な発注元>> 地域内の行事実施団体(夏祭り・敬老会など) 周辺地域住民 (総会・法事・忘年会・新年会・同窓会など)	◎

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
S	・利用者の満足度の達成度は122.9%であり、評価基準により「S」評価とした。 ・達成度は、高い水準で推移しており、施設老朽化の中でも接遇面における満足度は高いため、引き続き、サービス内容の充実に努めていただきたい。 ・アンケートの回収率向上のためのポイントサービスの取組について評価する。

利用者満足度調査	3施設の平均値
調査手法/サンプル数	利用者満足度調査（アンケート用紙による満足度調査）/サンプル数は個別表参照
目標値の基準	「普通」以上の割合が8割以上

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（%）	80	80	80	80	80	80	80
実績値（%）	98	98	98	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
達成度（%）	122.5%	122.5%	122.9%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

利用者満足度調査	緑の休暇村センター
調査手法/サンプル数	利用者満足度調査（アンケート用紙による満足度調査）/139件（令和6年4月1日～令和7年3月31日）
目標値の基準	接客、食事など各項目の満足度の「普通」以上の割合が8割以上

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（%）	80	80	80	80	80	80	80
実績値（%）	99	100	100				
達成度（%）	123.8%	125.0%	125.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

利用者満足度調査	青根緑の休暇村いやしの湯
調査手法/サンプル数	利用者満足度調査（アンケート用紙による満足度調査）/440件（令和6年4月1日～令和7年3月31日）
目標値の基準	総合的な満足度の「普通」以上の割合が8割以上

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（%）	80	80	80	80	80	80	80
実績値（%）	95	94	95				
達成度（%）	118.8%	117.5%	118.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

利用者満足度調査	津久井合唱館
調査手法/サンプル数	利用者満足度調査（アンケート用紙による満足度調査）/27件（令和6年4月1日～令和7年3月31日）
目標値の基準	施設管理状況、利用料金、接遇、総合的な満足度における「普通」以上の合計が8割以上

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（％）	80	80	80	80	80	80	80
実績値（％）	100	100	100				
達成度（％）	125.0%	125.0%	125.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

その他の取組	
取組事項	時期 取組内容
該当なし	

6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
D	・経営状況に重大な懸念があり、全体収支、事業収支ともに赤字のため、評価基準により「D」評価とした。 ・物価や電気料金などの高騰による要因も大きい。経営改善に向けての検討を進めていただきたい。

施設の収支概要		※直近3年間について記載			(千円)
項目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
収入（a）		78,586	72,808	71,537	
指定管理料		714	714	3,470	
利用料金収入		63,493	67,737	67,149	
その他の収入		14,379	4,357	918	
支出（b）		94,528	84,095	86,967	
人件費		27,471	29,276	27,341	
本社管理経費		60,916	47,776	53,831	
その他の支出		6,140	7,043	5,795	
本体事業収支【(a)-(b)】(c)		-15,941	-11,287	-15,430	
自主事業収入（d）		39,732	46,900	47,554	
自主事業支出（e）		40,583	49,564	48,713	
自主事業収支【(d)-(e)】(f)		-851	-2,664	-1,159	
全体収支【(c)+(f)】		-16,793	-13,951	-16,589	
備考	全体収支増減の主な理由 ○緑の休暇村センター：コロナ禍以降の団体利用や周辺イベントの減少によるもの、テニスコート劣化による使用中止に伴う使用料とテニス宿泊者売上の減少によるもの ○いやしの湯：令和6年11月の料金改定により収入は僅かに増収であるが、入館者は機械の故障や降雪による臨時休業や時短営業が多くあため減少したもの。 ○物価や電気・灯油などの料金の高騰によるもの				
団体の財務状況	団体本体の経営状況について重大な懸念がある。				

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックシートに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施	
実施時期	令和6年11月28日：緑の休暇村センター及び青根緑の休暇村いやしの湯 令和7年 3月12日：津久井合唱館	
検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	
有	施設従業員のおよそ8割が市内在住であり、また、業務の再委託は、ボイラー保守等の専門的な技術が必要とするものを除いて全て市内業者を活用しており、積極的な地元活用が図られている。	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	×
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	×
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	○
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	×
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	×
その他取り組んでいること	

9 指定管理者の自己評価

コロナ禍から税引後当期利益金は4年連続のマイナス経営が続き厳しい状況です。

令和4年度からは利用者の減少による歳入の減少が著しく、歳出では光熱水費（電気、灯油）の高騰や人件費、食料費など諸物価の値上がりにより11月に入館料の改定（値上げ）をしましたが、サウナや加圧ポンプの故障及び送湯管劣化による漏水など機械の故障による臨時休業や時間短縮営業及び時間休業などこの3年程は機械の故障による影響が多くなり令和6年度はその影響が顕著になりました。

中規模改修による休館中に現状を見直し、改善に努めます。

10 所管課意見

コロナ禍以降の活動傾向の変化や周辺イベントの減少、施設の老朽化などの各種課題がある中で、新たな収入確保策として会食や仕出しサービスを実施したこと、また、本事業が地域の交流にも寄与するものであることから大変評価できる。

経営改善も含め、現行の管理運営方法については、いやしの湯のリニューアルオープンに向けて検討を行い、より良いサービスを提供し、新規利用者の確保に努めていただきたい。

施設の老朽化に伴う対応について、利用者の安全や利便に配慮して取り組んでいただいていることに所管課として大変感謝している。市と指定管理者で各種点検結果を共有するなどにより修繕箇所の早めの洗い出しを行い、計画的な修繕に努めていきたいと考えている。

11 審査委員会意見

・利用者の利便性向上のため、クレジットカード決済や宿泊予約システムの導入を進めていただきたい。

・リニア中央新幹線の開業を見据え、橋本駅から立ち寄れる観光スポットとして計画的なPRの検討及び実施をお願いしたい。

・管理運営に係る経費のうち、人件費や光熱水道費が占める割合が大きい。従業員の効率的なシフト管理や太陽光などの電力導入などに取り組み、あらゆる角度から経費削減・経営改善に努めていただきたい。

・3施設（緑の休暇村センター、青根緑の休暇村いやしの湯、津久井合唱館）の在り方が検討中であること、いやしの湯が休館中であることは承知しているが、その間にも、利用者獲得や経営改善のために、何かできないことがないか、市と指定管理者で検討を進めていただきたい。

・令和7・8年度の各目標値については、いやしの湯の中規模改修工事の実施状況や再開時期をみて、次回のモニタリングの際に、改めて審査委員会で審議して定めることとする。

総合評価（自動判定）

B

(55/100)

